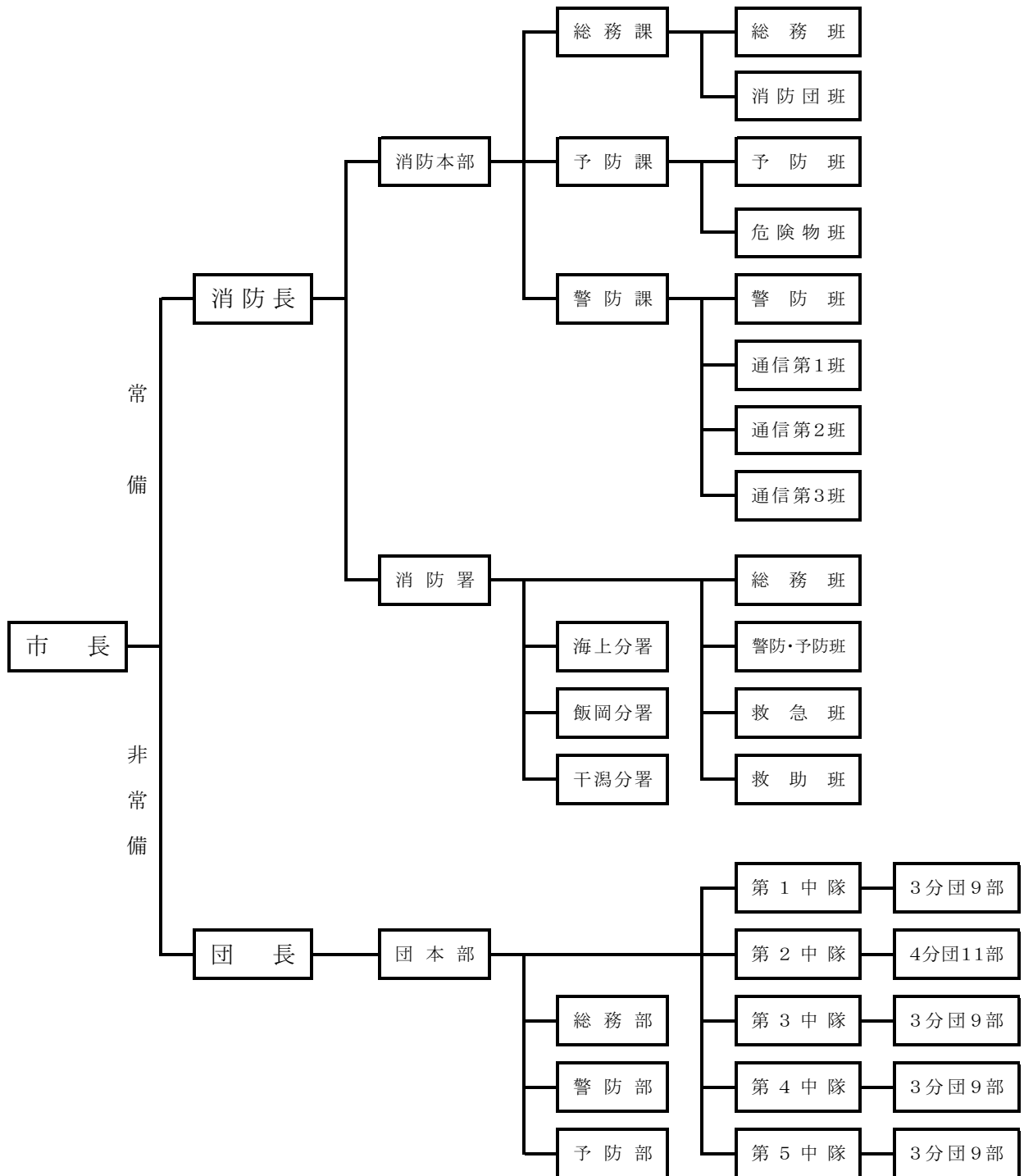


2. 消防機構(組織)



3. 消防施設

令和2年4月1日 現在

区分	所在地	敷地面積 (㎡)	用途	構造	延床面積 (㎡)	建築年月日
消防本部・消防署	旭市イの 2953番地1	4,564.20	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	1,235.70	昭和60年12月23日
			車庫(北)	鉄骨造 平屋建	387.91	〃
			車庫(南)	鉄骨造 平屋建	138.08	〃
			浄化槽室	鉄筋コンクリート 平屋建	9.05	〃
			救急消毒室	木造 平屋建	39.74	平成8年2月28日
			訓練塔	鉄骨造(高さ21m) 一部倉庫	90.00	平成9年2月20日
			発電・変電収納	コンクリートブロック造 平屋建	29.11	平成13年12月25日
海上分署	旭市高生 1番地	9,467.39	支所庁舎	鉄骨コンクリート造 3階建	113.90 (2,879.50)	平成23年6月1日 改築 (昭和59年8月)
飯岡分署	旭市萩園 1800番地	10,576.42	支所庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	125 (2,295.91)	平成24年4月1日 改築 (昭和49年1月)
干潟分署	旭市南堀之内 17番地	1,010.20	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	354.73	昭和46年8月10日

4. 面積・人口・世帯数

区 分	面 積 (km^2)	国 勢 調 査 (H27.10.1)		人 口 (令 和 2 年 4 月 1 日)			世 帯 数
		人 口	世 帯 数	男	女	合 計	
旭 市	130.45	66,586	23,350	32,101	32,888	64,989	26,329

5. 基準消防力と現有消防力との比較

令和2年4月1日 現在

種 別 \ 区 分		基 準 数	現 有 数	不 足 数
消 防 本 部 ・ 署	消 防 署 々 の 数	4	4	
	消 防 ポンプ自動車	8 台	(予備車を含む) 9 台	
	化 学 車	1 台	1 台	
	梯 子 車	1 台	1 台	
	救 助 工 作 車	1 台	1 台	
	特 殊 車 等 (調 査 車 ・ 支 援 車 等)	3 台	4 台	
	救 急 車	4 台	(予備車を含む) 5 台	
	消 防 職 員	163 人	121 人	42 人
消 防 団	市街地 (台数・口数)	4 台 9 (口)	4 台 9 (口)	
	準市街地 (台数・口数)	15 台 23 (口)	15 台 23 (口)	
	その他の地域 (口数)	6 (口)	6 (口)	

6. 現有消防力に対する面積・人口・世帯数

令和2年4月1日 現在

組 織 \ 区 分	消 防 力	面 積 (km^2)	人 口 (人)	世 帯 数
消 防 本 部	1 署 々 当 たり	32.61	16,247	6,582
	ポ ン プ 1 台 あ たり	14.49	7,221	2,925
	消 防 職 員 1 人 あ たり	1.08	537	218
消 防 団	ポ ン プ 1 台 あ たり	2.78	1,383	560
	消 防 団 員 1 人 当 たり	0.17	87	35

7. 予算(当初)決算の推移

単位:千円

年 度 \ 区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)
当初予算額	27,380,000 (1,235,108)	28,270,000 (1,653,958)	28,610,000 (1,214,538)	27,990,000 (1,183,700)	30,080,000 (1,221,457)
歳出決算額	28,638,075 (1,176,609)	31,213,889 (1,490,048)	29,336,546 (1,196,086)	29,015,887 (1,214,537)	

()内は消防費

8. 消防本部車両配置状況

区分 配置先	呼称	車種	シャシー メーカー	年式	無線	ポンプ 級別	ポンプ等メーカー
消防本部	旭本部司令1	指令車	ホンダ	平成27年	有		
	旭本部広報1	調査広報車	ニッサン	平成25年	有		
	旭本部予防1	調査広報車	トヨタ	平成17年	有		
	旭本部調査1	調査広報車	トヨタ	平成30年	無		
	旭本部連絡1	連絡車	ニッサン	平成24年	有		
	小型連絡車	連絡車	三菱	平成14年	無		
消防署 (本署)	旭指揮1	指揮車	ホンダ	平成22年	有		
	旭水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成24年	有	A2級	モリタ
	旭ポンプ1	普通ポンプ車	日野	平成30年	有	A2級	モリタ
	旭ポンプ2	普通ポンプ車	いすゞ	平成16年	有	A2級	GMいちほら工業
	旭化学1	化学車	日野	平成28年	有	A2級	GMいちほら工業
	旭救助1	救助工作車	日野	平成20年	有		モリタ
	旭梯子1	梯子車	日野	平成28年	有		モリタ
	旭救急1	高規格救急車	トヨタ	平成22年	有		エイバン商事(資器材)
	旭救急2	高規格救急車	トヨタ	平成17年	有		フクダ電子(資器材)
	旭資機材1	搬送車	ニッサン	平成27年	有		
	旭資機材2	支援車	いすゞ	令和元年	有		
	小型連絡車	連絡車	ニッサン	平成23年	無		
海上分署	旭海上水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成16年	有	A2級	日本造機
	旭海上ポンプ1	普通ポンプ車	日野	平成27年	有	A2級	モリタ
	旭海上救急1	高規格救急車	トヨタ	平成19年	有		フクダ電子(資器材)
	小型連絡車	連絡車	三菱	平成14年	無		
飯岡分署	旭飯岡水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成18年	有	A2級	日本造機
	旭飯岡ポンプ1	普通ポンプ車	日野	平成23年	有	A2級	GMいちほら工業
	旭飯岡救急1	高規格救急車	日産	令和2年	有		エイバン商事(資器材)
	小型連絡車	連絡車	スズキ	平成15年	無		
干潟分署	干潟水槽1	水槽付ポンプ車	日野	平成19年	有	A2級	GMいちほら工業
	干潟ポンプ1	普通ポンプ車	日野	平成28年	有	A2級	モリタ
	干潟救急1	高規格救急車	トヨタ	平成28年	有		エイバン商事(資器材)
	小型連絡車	連絡車	三菱	平成16年	無		

9. 歴代消防長

昭和42年10月1日 旧旭市消防本部を設立

歴代	消防長名	期 間	摘 要
初代	平川 清	自 昭和 42年 10月 1日 至 昭和 45年 3月 31日	旭市助役兼任
2代	伊藤 政秋	自 昭和 45年 4月 1日 至 昭和 45年 4月 16日	旭市長兼任
旭市・飯岡町・海上町・干潟町で旭市外三町消防組合を設立			
初代	伊藤 政秋	自 昭和 45年 4月 17日 至 昭和 46年 5月 31日	組合長兼任
2代	鶴岡 良介	自 昭和 46年 6月 1日 至 昭和 50年 5月 31日	専任
3代	大木 利一	自 昭和 50年 6月 1日 至 昭和 53年 4月 30日	専任
4代	林 俊二	自 昭和 53年 5月 1日 至 昭和 57年 6月 30日	専任
5代	関口 清	自 昭和 57年 7月 1日 至 昭和 59年 3月 31日	専任
6代	飯田 省三	自 昭和 59年 4月 1日 至 昭和 61年 3月 31日	専任
7代	下妻 文男	自 昭和 61年 4月 1日 至 平成 元年 3月 30日	専任
8代	仲條 栄樹	自 平成 元年 4月 1日 至 平成 4年 3月 31日	専任
9代	矢指 本静幸	自 平成 4年 4月 1日 至 平成 8年 3月 31日	専任
10代	飯田 繁	自 平成 8年 4月 1日 至 平成 11年 3月 31日	専任
11代	石毛利 夫	自 平成 11年 4月 1日 至 平成 13年 12月 31日	専任
12代	椎名 秋雄	自 平成 14年 1月 1日 至 平成 16年 3月 30日	専任
13代	佐久間 正	自 平成 16年 4月 1日 至 平成 17年 3月 31日	専任
旭市・飯岡町・海上町・干潟町の合併により旭市消防本部を設立			
初代	佐藤 眞一	自 平成 17年 7月 1日 至 平成 20年 3月 31日	専任
2代	菅谷 衛一	自 平成 20年 4月 1日 至 平成 22年 3月 31日	専任
3代	佐藤 清和	自 平成 22年 4月 1日 至 平成 27年 3月 31日	専任
4代	品村 順一	自 平成 27年 4月 1日 至 平成 29年 3月 31日	専任
5代	加瀬 寿勝	自 平成 29年 4月 1日 至 平成 30年 3月 31日	専任
6代	川口 和昭	自 平成 30年 4月 1日	専任

10. 消防職員配置状況

令和2年4月1日 現在

階級別 区分		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務員	計
		消防本部	消防長	1						
総務課			1	1	5 (1)				2	9 (1)
予防課			1	1	3 (1)	1				6 (1)
警防課			1	2	4 (1)	1				8 (1)
小計	1		3	4	12 (3)	2			2	24 (3)
消防署	署長		1							1
	副署長			3						3
	旭消防署			4	15	9	8	3		39
	海上分署			1	11	4		2		18
	飯岡分署			1	13	3		1		18
	干潟分署			1	10	4	2	1		18
	小計		1	10	49	20	10	7		97
合計	1	4	14	61 (3)	22	10	7	2	121 (3)	

()内は女子数

11. 消防職員階級別年齢表

令和2年4月1日 現在

階級別 区分		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務員	計
		18歳～20歳							1	
21歳～25歳							2	6		8
26歳～30歳						9	8		1	18
31歳～35歳				10	13					23
36歳～40歳				19					1	20
41歳～45歳				23 (3)						23 (3)
46歳～50歳			8	8						16
51歳～55歳		2	1	1						4
56歳以上	1	2	5							8
合計	1	4	14	61 (3)	22	10	7	2		121 (3)

()内は女子数

12. 消防職員勤続年数

令和2年4月1日 現在

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計
10	15	20	24	8	27 (3)	7	10	121 (3)

事務吏員含む ()内は女子数

13. 消防研修機関派遣状況

区 分	年 度	昭 和	平 成	平 成	平 成	平 成	令 和	合 計
		42年	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科		2					2
	幹 部 研 修 科		9	1				10
	警 防 科		9		1	1		11
	予 防 科		3				1	4
	救 急 科		2					2
	救 助 科		10				1	11
	火災調査講習会		2					2
	新任教官科		1		1			2
千 葉 県 消 防 学 校	初 任 科	208	3		1	5		217
	初 級 幹 部 科	32						32
	中 級 幹 部 科	21						21
	幹部特別研修科	6						6
	警 防 課 程	10						10
	特 殊 災 害 科	6	1	1	1	1	1	11
	救 助 科	40	1	1	1	1	1	45
	水難救助課程	9						9
	無線通信課程	14						14
	予 防 査 察 科	5	1	1	2	2	2	13
	火災調査科	11	2	2	2	2	2	21
	危 険 物 課 程	1						1
	救 急 I 課 程	74						74
	救 急 II 課 程	32						32
	救 急 科	98	3	3	3	2	4	113
	訓 練 指 導 科	70	1	1	1	1	1	75
	管 理 職 科	1						1
	機 械 科	4						4
	はしご自動車講習	37	1	1	1	1	1	42
	薬剤投与・気管挿管講習	4						4
薬剤投与講習	3						3	
処置範囲拡大2行為追加講習	1	5					6	
研 修 所	救急救命士養成研修	19	1	1	1	1	1	24
	薬剤投与講習	6						6
	指導救命士養成研修	1		1			1	3
	処置拡大追加講習		2					2
安全運転研修所		11	2	2	2	2	1	20
合 計		762	24	16	16	19	16	853

14. 資格取得状況

令和2年4月1日 現在

資格等の名称		階 級						合 計
		消以 防司 令上 長	消 防司 令	消 防司 令補	消 防士 長	消 防副 士長	消 防 士	
車 輛 船 舶 関 係	大型自動車運転免許	4	13	53	21	10		101
	中型自動車運転免許		1	2	1			4
	大型特殊自動車運転免許			3				3
	けん引自動車免許			4				4
	小型船舶操縦免許	1	1	11	3			16
労 基 関 係	衛生管理者	1	2	2				5
	潜水士	2	5	24	11	5	2	49
	特定化学物質等作業主任者	1	3	4				8
	小型移動式クレーン	2	8	19	5	1		35
	玉掛け技能講習	3	7	18	5			33
	ガス溶接技能講習	3	4	14	2	1		24
	酸素欠乏危険作業主任者	2	4	16	3			25
消 防 関 係	救急救命士	1	6	17	4	1		29
	救急(Ⅱ)	2	7	2				11
	救急(標準)	3	7	54	19	9	2	94
	予防技術資格者	1	4	21	5			31
	危険物取扱者(乙種)		2	37	17	8	5	69
	危険物取扱者(丙種)		3	3				6
	第2級陸上特殊無線技士	5	9	3				17
	第3級陸上特殊無線技士		5	57	21	8	4	95
	特別管理産業廃棄物管理責任者講習		4	8				12